

---

perfume

gossip

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

perfume

### 【Nコード】

N9310Y

### 【作者名】

gossip

### 【あらすじ】

ちよつと背伸びしたかった

あの男にであって私は楽だった

## 出会い。屋上

私の好きな人は背が高く、痩せ型で金より甘い色のくせ毛

指には、髑髏どくろのring少し煙草の匂い

私はこの男ひとが好きだ。

この男は、理科の先生で私はその生徒。かなり掟破りの恋と思われ  
てもしょうがない

この男の名は「桐生馨きりゆうかおる」

そして私の名は「大崎麗おおさきれい」

高校2年学歴優秀

規則ばかりの毎日に飽きてしまった

リボン、ブレザー、シャツ、スカート、勉強

こんな平凡で窮屈な中から抜け出したかった

空は自由で好き。屋上は私にとって大切な場所

あの男と出会ったのもこの屋上で

## 自分自身（前書き）

私はあいつ（きりゆう）にであって優しさ、愛情、人を好きになる  
ことを初めて知りました。  
恋の序

## 自分自身

あゝもうヤダ。。うるさい

理科の授業終わり女子たちが桐生とキヤーキヤー言いながら話している

私は孤独かもしれない。終わってるなにもかも

私の家族はお母さんと2人

お母さんの愛情は歪んでたお父さんと離婚してお酒にはしった

心配する私に「あなたも寂しい女なんだから」と言ってくる

だから私は、勉強も料理も頑張ったでも、私の居場所はなかった

こんな気持ちは桐生には分かるはずもない

きっと友達なんて利用価値があるから一緒に居るだけだと思う

だから地味に目立たずクラスに居よう

そうしたらきっと孤独に慣れるから

寂しい私なんだ

## 自分自身（後書き）

麗と桐生はまだ出会ってないのです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9310y/>

---

perfume

2012年1月12日18時53分発行